

聴解原文

問題1

1番

男の人と女の人が話しています。男の人はこの後何をしますか。

男：森さん、僕、来週引っ越すんだけど、今使ってる冷蔵庫いらなくなるんだ。それで、もらってくれる人を探してるんだけど、誰か知らない？

女：んん……ちょっと心当たりないなあ。

男：そっか。冷蔵庫って、確か粗大ゴミとしては出せないんだよね。

女：うん、法律でいらなくなった冷蔵庫を出す時は、手続きをすることになってるよね。

男：そっか。手続きって、どこですか。

女：市役所に連絡してもいいけど、引っ越し会社によっては、事前に言っとけば、手続きをしてくれて、引越し当日、冷蔵庫の回収もしてくれるって聞いたことあるよ。

男：えっ、そうなんだ。

女：そのほうが簡単だから、聞いて見たら？来週まで、時間もないでしょう。

男：わかった。ありがとう。

男の人はこの後何をしますか。

2番

日本語学校で、先生が話しています。学生はこの後、スピーチの原稿をどう直しますか。

女：先週提出してもらったスピーチの原稿を返します。はじめのところに自己紹介を入れてもらいましたが、皆さんよく書いていました。スピーチの内容もそれぞれとても面白かったです。授業で勉強したように、難しい言葉には説明をつけて、分かりやすくしているのも良かったんですが、皆さん、文と文をつなぐ表現がほとんど使われていませんでした、不自然に感じるの、今から見直して入れてみましょう。そのほかの点については、それぞれコメントを入れました。全体的な長さは今は考えなくてもいいですよ。

学生はこの後、スピーチの原稿をどう直しますか。

3番

デパートの洋服売り場で、店の人と男の人が話しています。店の人はズボンの裾をどのように仕上げますか。

店の人：お客様、そちらのズボン、はいてみていかがですか。

男：ああ、ちょうどいいです。ただズボンの裾が少し長いので、短くしてもらえますか。

店の人：かしこまりました。では、長さを確認いたします。

男：あのう、今これは裾が内側に折ってあるんですけど、外側に折るようにしてもらえますか。売場に飾ってあったのみたいに。

店の人：あ、はい。

男：できますか。よかった。で、売り場にあったのは、折ったところをボタンで留めるようになってましたが、糸で留めてもらいたいんです。

店の人：ボタンですと、留めたりは少ししやすすいので、汚れなどのお手入れがしやすいですよ。

男：うん、僕には必要ないかな。

店の人：承知しました。では、そのように。

店の人はズボンの裾をどのように仕上げますか。

4番

会社で、女の人と男の人が話しています。男の人はこの後まず何をしなければなりませんか。

女：田中さん、新製品の発売に合わせて行うイベント、あれ、やる事が確定したから、準備始めてくれる？

男：はい、わかりました。

女：今回は、社長に挨拶をお願いしてあるから、社長が来れる日じゃないといけないの。秘書課に予定を聞いてくれる？イベントの候補日を絞らないといけないから。

男：はい、日にちが決まったら、会場を予約しますね。参加者は何人ぐらいになるでしょうか。

女：100人ぐらいかな。営業部が今、招待客の名簿を作るところなんだけど。

男：じゃ、会場を予約するのは名簿ができてからですね。

女：うん。

男の人はこの後まず何をしなければなりませんか。

5番

アパートの入り口で、男の管理人と女の学生が話しています。女の学生は明日の朝、まず何をしなければなりませんか。

男：あ、リンさん、おはようございます。掲示板にお知らせを貼っておいたんですけど、明日の土曜日、大丈夫ですか。

女：えっ、明日、何かあるんですか。すみません、掲示板ちゃんと読んでなくて。

男：自転車置き場のペンキを塗りなおすですよ。ついでに、自転車置き場の掃除もするんです。

女：ああ、そうなんですか。すみません、明日はちょっと時間がなくて。

男：ああ、いいえ。自転車をアパートの前の駐車場に移動してほしいんです。今日はまだ駐車場が使えないから、明日の朝七時から十時の間にお願いします。

女：ああ、一緒にペンキを塗るのかと思っちゃいました。

男：はは、それはプロに頼んでありますよ。明日の朝、大丈夫そうですか。無理なら、私がやっておきますが。

女：はい、出かける前にできます。

男：お願いします。動かしたら、すみませんが、鍵は私に預けてください。自転車はこちらで戻しておきますから。

女：わかりました。

女の学生は明日の朝、まず何をしなければなりませんか。

問題2

1番

男の人と女の人がプリンターについて話しています。女の人は今使っているプリンターを選んだ理由は何だと言っていますか。

男：中山さん、この間プリンター買ったって言ってたよね、うちのプリンター、急に壊れちゃって、新しいのを買わないといけないんだけど、参考までにどうやって決めたのか教えてもらえない？

女：そうだね。最近のプリンターは写真をすごくきれいに印刷できるし、インクの容量も大きいし、すごいなって思った。コピ

ーやファクスの機能も付いてたりして、便利になってるし。

男：うん。

女：私が買ったのは印刷スピードが速いっていうのが一番の特徴だったんだけど。私は文字を取り込む機能があるのがいいなあって思ったんだ。

男：文字を取り込む？

女：うん。紙の書類を電子ファイルとして、パソコンに保存したい時ってあるでしょう。そんな時に便利なんだ。いちいち手で打ち直さなくていいし。

男：えっ、そうなの。すごいね。

女の人は今使っているプリンターを選んだ理由は何だと言っていますか。

2番

会社で、女の人と男の人が話しています。男の人は何が一番うれしいと言っていますか。

女：田中さん、田中さんの企画した新商品、先月の売り上げ1位でしたね。おめでとうございます。

男：たまたまだよ。

女：部長も喜んでいらっしゃいましたよ。

男：そう。企画の時から、自由にやらせてもらったからね。実は、この間、大学時代の友人と話したら、この商品のことをすごくいいねって言ってくれたんだよ。作ってる側からすると、知っている人からこう言ってもらえるのはどんな言葉よりうれしいよね。これからも頑張らなきゃって思うよ。

女：よかったですね。次の企画も私たちみんな、期待しています。

男：わー。プレッシャー大きいなあ。

男の人は何が一番うれしいと言っていますか。

3番

放課後の子どものための教室で、男の学生と係りの人が話しています。係りの人はどんな人にボランティアに来てほしいと言っていますか。

男：すみません、こちらの教室で夏休みの間のボランティアスタッフを募集しているって聞いたんですが。この教室って、どんなことするんですか。

係りの人：ああ、小学生の子どもたちが放課後、一緒に遊んだり、宿題をしたりするんです。夏休みは、普段より子どもが増えるので、募集してるんですが。ボランティアご希望ですか。

男：興味あるんですが。こういうボランティアやったことないんです。大丈夫でしょうか。

係りの人：経験はないよりあったほうがいいですけど、まあ、子どもって、放っておいても、自分で遊ぶものですからね。遊びを教えたりする必要もないですし。

男：そうですか。

係りの人：それより、子どもの話に耳を傾けてくれる人がいいんです。子どもって自分の話を聞いてもらえたら、それだけでうれしいんですよ。

男：へえ。

係りの人：算数とか国語とか、勉強を教えられる人はほかにもスタッフいますから。よかったら、一度ぜひ教室に来てみてください。

男：はい。ありがとうございます。

係りの人はどんな人にボランティアに来てほしいと言っていますか。

4番

日本語のクラスで、留学生が日本での体験についてスピー

チをしています。留学生はある店で買い物をしたとき、店員のどんな対応がいやだったと言っていますか。

女：先日、スニーカーを買いに行きました。店に入るとすぐ、店員さんが声をかけてくれました。それはうれしかったんですが、その後ずっと離れないんです。商品を見ようとするたび、丁寧な言葉で説明してくれましたが、近くにいられると気になって、ゆっくり見られませんでした。私の国では、店員は挨拶はしますが、客が質問した時しか近くには来ないんです。ただ、私の国の場合、高い商品をすすめられることが多いんですが、この店では、そんなことはありませんでした。

留学生はある店で買い物をしたとき店員のどんな対応がいやだったと言っていますか。

5番

図書館で、女の人と男の人が話しています。男の人は図書館へ来る人を増やすために、まずどんなことをしたいと言っていますか。

女：ここ数年、うちの図書館を利用する人が減ってきてるんですが。

男：そうだね。少し前に、子供向けに絵本の読み聞かせの会とか図書館ツアーとかやってみたら、効果があったよね。これから対象を子供以外にも広げていたらどうかね。

女：大人向けのイベントなら、今までもやりましたよね。

男：うん。ただ、これまでは昼間しかやってなかったでしょう。今度は夜の時間にもやってみるとか。これなら、すぐにできるし。

女：そうですね。

男：うん。とにかくやってみよう。後、将来的には、学習スペースの設備を充実させたり。

女：設備？

男：うん。机や椅子をいいものに変えて、快適にしたり、パソコンを使う人も多くなってるから、コンセントを増やしたり。

女：なるほど。もしそうになったら、積極的に宣伝したいですね。

男：そうだね。

男の人は図書館へ来る人を増やすために、まずどんなことをしたいと言っていますか。

問題3

1番

就職セミナーで、ある航空会社の社員が話しています。

女：私は飛行機の乗務員をしています。機内でお客様が快適で安全に過ごせるように様々な仕事をします。この仕事は飛行機でいろいろな場所に行けて、魅力的だと思われているようで、就職を希望する学生さんが多いのも事実です。ただ、いい面ばかりではありません。お客様の荷物の上げ下ろしのお手伝いや飲み物、食事のサービスなど休む間もないほどです。また、何かトラブルが起これば、お客様への対応が求められます。外からはそういったことはなかなか見えにくいと思いますが。

社員は何について話していますか。

1. この仕事の魅力
2. この仕事の大変さ
3. この仕事についての理由
4. この仕事に必要な体力

2番

女の人と男の人が男の人が買った車について話しています。

女：最近、新しい車を買ったんだってね？

男：んん、ずっと憧れていた車なんだ。有名なデザイナーがデザインした車で、外見も中も洗練されてて、僕にとっては一流ホテルにいるのと同じような感じなんだ。

女：へえ。

男：ただ、買うかどうか最後まで悩む値段だったんだけどね。買ってから驚いたんだけど、乗ってて疲れにくいんだ。視界のよさとか、操作のしやすさとか、運転手の負担を最小限に抑える工夫が効いてて、安全運転にもつながるね。その意味では安い買い物だったと思うよ。

男の人は買った車についてどう言っていますか。

1. 値段も安かったし、いい車で満足だ。
2. 値段は高かったが、いい車で満足だ。
3. 安い車なので、性能に不満がある。
4. 高級な車だが、性能に不満がある。

3番

ラジオで、料理研究家が話しています。

女：料理を作ったら、食べた人に美味しいと言ってほしいとみんな思いますよね。ところが、好みは人それぞれ、その好みを形成するものの一つは子供のごろから毎日食べていた家庭料理の味です。家庭だけでなく、学生時代によく通っていた食堂などの慣れ親しんだ味を美味しいと感じることが多いと言われています。ほかにも暑い地域では、汗をかくて体温を下げる効果のある辛い料理が好まれるといった気候によるものなどもあります。

料理研究家は何について話していますか。

1. おいしい料理を作る工夫
2. 子供時代の食事の思い出
3. 家庭料理の味の特徴
4. 味の好みを決める要素

4番

テレビで、アナウンサーが作家にインタビューをしています。

女：今日は今話題の作家山田はじめさんにお話を伺います。どうぞ、よろしくお願いいたします。山田さん、最近若い人の読書離れが進んでいると言われていていますか。

男：読書っていうのは人生を豊かにしてくれるので、若い人には本を読んでもらいたいですね。ただ個人的には一年に何冊本を読んだとか、そういうことはそれほど大切ではないと思います。

女：と言えますと。

男：わたしは若いころ好きな本をよく汚れてぼろぼろになるまで読んでましたが、同じ本でも読むたびに違うことを感じて、考えが深まっていたのを覚えています。最近は仕事や人間関係に役立つからといって、実用的な本ばかり宣伝される傾向がありますが、そういう本は何回も読んだりしないですからね。

女：ええ。

男：若い人にも自分が出会った一冊とじっくり向き合ってほしいですね。

作家が言いたいことは何ですか。

1. 好きな本を繰り返し読んでほしい。
2. なるべく多くの本を読んでほしい。
3. すぐに役に立つ本を読んでほしい。
4. 宣伝を参考にして本を選んでほしい。

5番

学校で校長先生が話しています。

男：受験勉強やスポーツの練習など大きな目標に向かっているとき、目標しか見えなくなっていることがあります。そこに向かう道はつらくても仕方がないといえや取り組んでいたりしませんか。目標を持つことはもちろん大事ですが、ちょっと視点を変えてみましょう。学ぶこと運動すること自体にも喜びがあり、自分の成長につながるはずです。最終的なゴールは同じでも、そ

こにたどり着くまでにどう取り組むかによって、得られるものも変わってくるかもしれません。

校長先生が伝えたいことはどのようなことですか。

1. 目標は自分に合ったものがよい。
2. 目標を持ち続けることが必要だ。
3. 目標に向かうプロセスにも意味がある。
4. 時々目標を見直すことが大事だ。

問題 4

1番

うん？会議の資料、この机の上に置いたはずなのに。

1. えっ、ないんですか。
2. 助かります。ありがとうございます。
3. あっ、机の上に置いてはいけなかったんですね。

2番

森さん、薦めてくれたカメラ、買いましたよ。小型ながらもなかなか高性能ですね。

1. もっと小さいのがよかったんですね。
2. 小さいのに、すごいでしょう。
3. 小さいほうが性能がいいんですか。

3番

今日の自習のレポート明日出さなきゃいけないなんて。

1. 明日までじゃなくてよかったね。
2. 本当、もっと時間ほしいよね。
3. えっ、レポート出さなくてもよかったの。

4番

あのう、佐藤さん、この椅子運んでくださると、助かるんですが。

1. 運んでいただけるんですか。
2. えっ、私、運んでませんよ。
3. あっ、はい、どこへ運びましょうか。

5番

鈴木さん、イベントの準備は順調？

1. では、さっそく準備を始めます。
2. 中止になるなんて残念です。
3. 今のところうまく行ってます。

6番

昨日愚痴を言っちゃったけど、聞かなかったことにしてくれない。

1. ああ、わかった。忘れるよ。
2. えっ、ちゃんと聞いてたよ。
3. もちろん、いつでも聞くとよ。

7番

今朝、もう少しでいつもの電車に乗り遅れるところだったよ。

1. そうか。でも間に合ったならよかったね。
2. ああ、いつものに乗れなかったんだ。
3. えっ、電車が遅れたんだ。

8番

伊藤さん、午後の会議の準備、一緒にやることになってたけど、ぼく一人ではできないこともないよ。

1. それなら、一緒にやろうか。
2. えっ、一人でやったの。
3. じゃあ、お願いしてもいい。

9番

藤田さん、スピーチの練習、付き合ってくださいってありがとうございました。当日もうまく行くといいんですけど。

1. うまく行ったんだ。頑張った甲斐があったね。

2. 仕方ないよ。そんなにがっかりしないで。
3. きっと練習の成果を出せると思うよ。

10番

サークルの打ち合わせ、5 番教室でやるって聞いたけど、教室は予約してからでないと使えないよ。

1. 予約は必要ないですね。
2. 先週、予約しました。
3. せっかく予約したのに使えないんですか。

11番

森田さん、森田さんの企画書だけど、データなしじゃ検討しようがないよ。

1. すみません。すぐ用意します。
2. あっ、検討していただけるんですね。
3. ええ、ご理解ありがとうございます。

問題 5

1 番

市の体育館の受付で女のひとと男の職員が話しています。

女：すみません。何か軽い体操でもはじめたいと思ってるんですが。こちらでそういう教室はやってますか。

男：はい。いろいろありますよ。時間や内容のご希望はございますか。

女：ええと、平日の午前中で、運動が苦手な私でも続けられそうな教室がいいんですけど。通ってらっしゃる他の方とも親しくなれるような雰囲気の。

男：そうですね。軽い体操というと。火曜九時半からのボール体操。これは直径 50 センチぐらいのゴムボールに座って体操をします。

女：ああ。

男：それから水曜 10 時からの柔軟体操。体をゆっくり動かして、手足を伸ばします。こちらのクラスは時々参加者の皆さんで交流会をやってみたいです。

女：へえ、いいですね。

男：それから、木曜 10 時からのリズム運動。音楽を流してリズムに合わせた運動をします。仲のいいクラスで、去年の秋には皆さんで近くにハイキングに出かけてましたよ。

女：その教室、この間テレビで紹介してましたよね。音楽に合わせて体操するの、楽しそうでしたけど。皆さん、汗びっしょりでした。

男：あっ、ご覧になったんですね。かなり体を動かすので、いい運動になりますよ。あとは、土曜の午前なんですが、筋肉トレーニングもあります。講師からいろんなトレーニング器具の使い方を教わりながら、筋肉を鍛えるクラスです。

女：迷いますね。でも、やっぱり週末はあけておきたいんですよ。あんまり激しい運動だと、できるかどうか自信がないし、教室以外にも仲良くなる機会があるほうがいいなあ。えっと、こちらの教室、見学できますか。

女の人はどの教室を見学したいと言っていますか。

1. ボール体操
2. 柔軟体操
3. リズム運動
4. 筋肉トレーニング

2番

大学で、大学祭の係の学生三人が話しています。

女 1: 大学祭まであと一か月だね。去年の参加者のアンケートで、ゴミ箱の場所がわかりにくかったっていう声が多かったけど。今年どうしたらいいかまだ決めてなかったね。

男：あちこちにゴミが捨てられてたよね。来場者に配った会場案内のチラシにゴミ箱の場所も書いておいたんだけど。チラシの数が足りなかったかなあ。

女 2: チラシは余ってたよ。

男：じゃあ、チラシが見にくかったかなあ。もう少し字を大きくして見やすくしたらどうかかなあ。

女 2: でも、お客さんは食べ物や荷物を持って移動するわけだね。チラシまで見ながらって難しいんじゃない？

女 1: それもそうだね。うん、去年は、会場内にゴミ箱はここですっていう看板も立てたよね。設置場所も問題なさそうだったけど。

女 2: うん。看板の文字も大きくてかなり目立ってたはずなんだけど。

男：込んでだからね。行列もあちこちにできてたし。

女 2: それで見えにくかったのかもしれないね。それなら、今年はもう少し高さがあるものにしてみようか。目につきやすいように。

女 1: うん、なるほど。それがいいね。

男：で、チラシは今年はどうする。見てもらえないなら配るのをやめる？

女 1: 見る人は見るから、あったほうがいいと思う。去年の十分見やすくできてたと思うから、あれを使おう。

問題解決のために、何をすることにしましたか。

1. チラシの文字を大きくする。
2. 配るチラシの数を増やす。
3. 看板の文字を大きくする。
4. 看板の高さを高くする。

3 番

テレビでアナウンサーが使われなくなった学校の校舎の再活用について話しています。

女 1: 生徒数が減り、廃止になった学校、その校舎の一部を有効活用する取り組みが各地で行われています。今日はその中から四つをご紹介します。まず、山の中の小さな学校、東小学校は、今宿泊施設として活用されています。豊かな自然の中で山歩きや川遊びを楽しめます。二つ目の西田市にある西中学校は、地域のイベントやコンサート、展覧会などに広く使われています。2 階は映画館になっていて、昭和時代の雰囲気が残っています。それから海に面した南小学校には、手作りのパンやアート作品の店が並んでいます。自分で作ったものを販売したいという若い人が集まってきています。ええ、四つ目の農村地域にある北中学校は食堂になっています。地元でとれた新鮮な野菜をたくさん使ったメニューが人気です。

男：今映ってた学校で、友達が今度作品を発表するんだ。

女 2: へえ、友達、何か作って売ってるの？

男：えっ、あ、その学校じゃなくて、その友達自分で映画を撮っててね。見に行くことになってるんだ。

女 2: そうなんだ。私は一度でいいから。学校に泊まってみたかったんだよね。今度の夏休みに山登りのサークルのみんなで行ってみたい？

男：えっ、夜の学校なんて真っ暗で怖そうじゃない？ おいしいごはんを食べるんだっいたらいつでも喜んでいくけど。

女 2: 今は学校じゃないんだから大丈夫だよ。

質問 1

男の人はどの学校に行くつもりだと言っていますか。

質問 2

女の人はどの学校に行きたいと言っていますか。